

平成19年第2回定例市議会が、6月4日から開かれました。この開会にあたり、4月に行われた統一地方選挙において2期目の再選となった山口市長が、千歳の未来を見据えた新たな決意とともに、平成19年度のまちづくりの指針となる「市政執行方針」を示しました。今月の特集では、市政執行方針とともに、それを実現するための予算についてお知らせします。



|特集|

市民協働実行元年のまちづくり

～平成19年度の市政執行方針と予算～

基本姿勢

まちづくりのための2つの

基本姿勢1

活力あるまちの『ちから』、市民力を生かした『都市経営』

・市が抱える課題を共有し、市民と行政が力を合わせ、市民主体・市民協働の都市経営（まちづくり）を進めます。

・既存産業の振興や企業誘致などに努め、新たな雇用の創出を図り、活力が循環するまちの実現を目指します。

・市民協働を着実に進めていくツールとして、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を平成19年4月に施行しました。この条例により、市民の多様な公益活動が明確に位置づけられ、都市経営につながることとなります。平成19年度を、「市民協働実行元年」と位置づけ、具体的な協働のあり方を示しながら、このまちで生き生きと生活している皆さんの「市民力」を生かした「市民協働によるまちづくり」を進めます。

基本姿勢2

みんなが幸せを感じる『ちから』、安全・安心な『都市経営』

・市民が安心して子どもを生み、育てられ、充実した心豊かな生活を送ることができる環境づくりを進めます。

・自然災害などから市民の生命、財産を守るための防災対策が充実したまちづくりを目指します。

「3つの活力」と「3つの安心」

当面する課題に取り組むための柱

活力1

経済の活性化・雇用の拡大

- ・既存産業の振興や自衛隊の存続維持に努め、地域経済の活性化を図ります。
- ・研究開発機能の拡充と、これに結びついた新産業の創出を図り、雇用機会の確保に努めます。
- ・総合的な交通ネットワークの整備を進めます。
- ・市の特性を生かした芸術・文化やスポーツなどの地域間交流の推進により、地域の活性化を図ります。

活力2

市民協働のまちづくり・市役所改革

- ・まちづくりのさまざまな分野において市民の参加を促し、協働によるまちづくりを進めます。
- ・民間活力の導入により、事務事業の効率化を進めます。
- ・地方分権の対応や、市民協働のまちづくりに積極的に取り組む職員の育成など、市役所改革に取り組めます。

活力3

財政の再生

- ・市の内部管理経費の削減を中心に取り組めます。
- ・土地開発公社の経営健全化に取り組めます。
- ・各自治体の特性を生かしながら、機能分担を図った広域行政を進めます。

安心1

福祉・医療の充実

- ・保健・医療・福祉の各分野のサービスを充実します。
- ・市民の日常の足となる公共交通機関の確保など、高齢者や障がい者などのハンディキャップを持つ方を支援します。

安心2

子育て・教育の充実

- ・子どもが元気に育ち、安心して子どもを生み育てられる環境を整備するため、多様な保育サービスの提供や子育て支援策を進めます。
- ・快適でゆとりと潤いのある児童生徒の良好な教育環境を確保します。
- ・市民生活に密着した図書館の充実や、活発なスポーツ活動ができるよう、施設の整備を進めます。

安心3

環境・防災の充実

- ・地球的視野に立った環境保全対策に取り組めます。
- ・きれいな水と豊かな緑に恵まれた自然環境と調和した環境共生型社会を構築します。
- ・さまざまな災害から市民生活を守り、安心して暮らせるための環境づくりや基盤整備を進めます。

特集 市民協働実行元年のまちづくり ～平成19年度の市政執行方針と予算～



おもな施策

平成19年度に取り組む

新長期総合計画の5つの都市づくりの目標に分け、ご紹介します。

「子育て・教育」「人づくり」「防災」「企業誘致」「観光」の5つの施策については、重点的・効果的に取り組む「重点施策」として位置づけています。

心がかよい 幸せ感じる都市づくり

【保健予防対策】生後4か月までの乳児とその養育者の家庭を助産師・保健師が訪問し、保健指導を行う「新生児訪問事業」の対象を全家庭に拡大します。

【市民病院】医療制度改革など、医療を取り巻く環境の急速な変化に的確に対応します。▼医師の確保に努め、市民の医療ニーズにこたえる診療体制の充実を図ります。

【地域福祉】要援護者の支援体制の整備などに取り組めます。

【高齢者福祉】地域密着型サービスの充実に努めます。

【介護保険制度】地域包括ケア体制を支えるため、「介護予防事業」、「包括的支援事業」などの地域支援事業を進めます。

【後期高齢者医療保険制度】平成20年4月からの実施に向け、「北海道後期高齢者医療広域連合」との連携を図り、必要な準備を進めます。

【障がい者福祉】障がいのある方の就労支援のため、「障害者自立支援教育訓練給付金制度」を新たに設け、雇用に結びつく資格取得に必要な受講料の一部を助成します。

【児童福祉】子育て支援の拠点施設となる「(仮称)子育て総合支援センター」の平成20年4月開設に向け、建設工事を行います。▼乳幼児を育てる世帯の経済的負担の軽減を図るため、「乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業」を始めます。

【市立保育所の民営化】平成20年度からの千歳保育所の民営化を円滑に進めます。

【人にやさしいまちづくり】市役所本庁舎西口に、エレベーターを設置するなど、市役所庁舎のバリアフリー化を進めます。



安心して子どもを生み育てられる「子育て」の環境整備を進めます。

安全で人と地球にやさしい都市づくり

【自然環境の適正な保全】多くの市民が自然に対する理解を深め、自然を大切にすることを育む事業を行います。

【公害の発生防止に向けた監視・指導体制】大気・水・騒音などの環境の常時監視と発生源に対する規制・指導に努めます。

【ISO14001】市民や事業者

との連携により、「E・C・Oちとせ」の普及・拡大を進めます。

【廃棄物行政】市民・事業者・行政の連携と協働体制を強化し、発生抑制・再使用・再生利用や適正処理の推進を図ります。

【不法投棄・不適正排出】適正ごみ処理推進員の活動や不法投棄監視カメラの運用により、抑制・防止に努めます。

【廃棄物処理施設】平成26年度まで暫定的に受け入れる南空知公衆衛生組合の可燃ごみの試験受け入れを実施します。▼近隣自治体とのごみ処理の広域化について調査・検討を進めます。

【防災】防災関係機関や協力団体などとの連携を強化し、防災体制の充実・強化を図ります。▼地域の実情にあつた協働型地域形成に向け、自主防災組織の結成支援や育成を進めます。▼平成18年度末に策定した「千歳市国民保護計画」の市民への周知と、関係機関と協力し、避難・救援・武力攻撃にともなう被害の最小化などの対策に取り組みます。

【C経路対策】「C経路まちづくり事業」として、防災学習交流施設の平成22年度完成を目指し、本格的な工事に着手します。▼C経路緩衝^{緩衝}緑地帯の整備を進めます。

【千歳川治水対策】治水事業の早期整備を促進します。

【消防】最新の救助資機材を積載し

次代を担う子どもが健やかに成長できる「教育」の環境整備を進めます。



た救助工作車への更新と、負傷者救出活動などに必要な空気呼吸器を計画的に整備します。▼市町村消防の広域化に向けた検討を進め、消防救急無線のデジタル化への移行や、消防指令業務の共同運用に関する広域消防運営計画の推進に努めます。

【火災予防】防火対象物の立入検査の強化と違反是正を一層徹底します。▼住宅用火災警報器の設置推進など、防火対策に取り組みます。

【救急業務】救急救命士の計画的な養成と、心肺機能停止者の救命率の向上を目指します。▼新しい救急蘇生処置の普及啓発の推進と、救急救命体制の充実に努めます。

【水道事業】浄水施設や配水管の計画的な更新と耐震化を進めます。▼耐塩素性原虫、いわゆるクリプトスポリジウム対策として、ろ過設備の改良などを行います。▼石狩東部広域水道企業団による拡張事業を進めます。▼浄水の受け皿となる配水池の建設に着手します。

【公共下水道事業】処理場施設の拡張更新や、下水道管などを計画的に整備します。▼千歳川とママチ川の水质保全対策として、水质改善事業を進めます。

【浄化センターとスラッジセンターの運転管理】性能発注方式による包括的な民間委託について、平成20年度からの導入を目指します。

【個別排水処理施設整備事業】下水道未整備地区である農村地区において、合併処理浄化槽を設置します。

【市営住宅の整備】中心市街地での居住人口の回復や、賑わいを取り戻すため、借上市営住宅制度に取り組みます。▼「いずみ団地」や緑町の未利用地を活用した「まちなか公営住宅」の整備を行います。

【犯罪や事故のない安全で安心な地域づくり】「安全安心なまちづくり」を考える市民会議からの提言を踏まえ、防犯と交通安全に重点を置いた条例の制定を目指します。【児童・生徒の登下校時における安全対策】「千歳つ子見守り隊事業」を進めます。

平成19年度予算
『みんなで進める協働予算』

予算の内訳

※金額は、平成19年6月の第2回
定例市議会における補正後の金
額です。
※（ ）は、平成18年度の金額です。

一般会計	471億6,878万5千円 (467億5,591万5千円)
特別会計	184億4,791万0千円 (172億9,908万2千円)
・国民健康保険	85億9,003万9千円
・土地取得事業	4,616万1千円
・公設地方卸売市場事業	4,028万6千円
・老人保健	68億5,183万2千円
・霊園事業	4,923万5千円
・介護保険	28億7,035万7千円
公営企業会計	139億6,607万3千円 (139億3,587万4千円)
・水道事業	27億4,719万8千円
・下水道事業	47億5,119万2千円
・病院事業	64億6,768万3千円
合計	795億8,276万8千円 (779億9,087万1千円)

一般会計の歳入内訳

一般財源	235億5,043万9千円 (233億6,850万3千円)
特定財源	236億1,834万6千円 (233億8,741万2千円)
合計	471億6,878万5千円 (467億5,591万5千円)

※「一般財源」とは、市税など、市が
使い道を自由に決められるお金です。
※「特定財源」とは、国道支出金など、
使い道が決められているお金です。

学びあい心ふれあう 都市づくり

【生涯学習】「ミナクル」を中心
に、市民の自主的な活動や交流・
連携を進めます。▼「みんなで、
ひと・まちづくり基金」を活用し、
ひとづくり・まちづくりのリーダ
ー的役割を担う人材育成に努めます。
【教育環境の整備】高台小学校など
4校で大規模改修を行います。▼
児童・生徒数の増加にともなう普
通教室の確保への対応として、北
陽小学校では校舎の増築を、富丘
中学校では分離校建設までの措置
としてプレハブ校舎を建設します。
【学校の耐震対策】高台小学校、青
葉中学校の2校で耐震化工事を行
うほか、4小学校において耐震診
断や実施設計を行います。
【教育用コンピュータの整備】小学

校9校の機器更新を実施するほか、
各小中学校に教務事務用コンピュ
ータを配置します。
【学校図書館】図書の実態を図ります。
【千歳科学技術大学】大学の充実に
向けて支援します。
【文化財の保護と活用】今後、埋蔵
文化財センターを旧長都小中学校
跡地へ移転する計画であり、これ
にともなう文化財の展示や体験学
習などの機能整備について検討し
ます。
【スポーツの振興】スポーツ団体の
育成に努めます。▼市民球場の観覧
席の改修、ウォーミングアップ用
の練習場の新設、場外飛球防止対
策、青葉少年野球場の土入替え工
事や信濃水泳プールの改修など、
施設の整備を進めます。
【国際交流の推進】活動に取り組み
市民団体への協力や支援を行いま

魅力と活力あふれる 都市づくり

まちを支える市民力を高めるため
「人づくり」を進めます。



す。▼姉妹都市や友好親善都市と
の交流を図り、市民に根ざした国
際交流を進めます。

【地域情報化の推進】「(仮称)子育
て総合支援センター」と「視覚障
害者情報センター」を公共情報ネ
ットワークで結び、子育て情報や、
視覚障がい者を対象とする音声情
報を提供します。▼インターネット
トや携帯電話のメール機能を活用
し、市民が地域の安心・安全情報
を共有する不審者等情報配信シス
テムの導入を図ります。▼市民対
象のパソコン講習や、市民が気軽
にパソコンなどの情報通信機器を
体験・利用できるIT講習室開放
事業を行います。▼市民生活の利
便性の向上を図る電子自治体の実
現に向けて取り組みます。
【道路整備】▼南2号道路(鉄北通)
の幹線道路をはじめ、東13号道路、
駒里12号道路などの生活道路の整
備を計画的に進めます。



安全で安心な地域社会の実現のため「防災」対策を進めます。

【**C経路整備**】祝梅根志越線の第2祝梅橋のかけ替え工事が平成19年度中に完成する予定であり、あわせて道路の拡幅改良工事を進めます。

【**新千歳空港**】北海道や新千歳空港国際化推進協議会などの関係団体と協調しながら、国際拠点空港化を進めます。

【**電線類地中化事業・バリアフリー整備事業**】千歳駅周辺の道路において工事が進められています。国道337号の電線類地中化事業については、国道36号までの延長を予定しています。

【**区画整理事業**】おさつ駅みどり台地区の土地区画整理事業の促進を図るなど、計画的な宅地の供給と魅力あるまちづくりに努めます。

【**農林業**】新規就農者への支援や女性農業者の経営参画の促進など、農業の経営体質の強化・改善に努めます。▼認定農業者や中核農家の育成のため、経営展開に必要な

諸制度の活用支援を行います。▼森林の整備と保護にかかる対策を行います。▼国が進める「農地・水・環境保全対策」にもとづき、地域共同の取り組みを進める活動組織に対して支援します。

【**グリーン・ツーリズム**】関係者による連絡協議会に対して支援します。

【**駒里地区の振興**】駒里農業協同組合や、駒里地域活性化促進協議会の取り組みに協力します。

【**工業の振興**】積極的な企業誘致活動を進め、高度な技術力を持つ企業の集積を図る「匠の技集積事業」、工業団地のリースや市内空き工場の活用などを図る「初期投資軽減事業」、市の優れた特性をWeb動画の配信などにより全国の企業にアピールする「立地環境PR活動推進事業」を強化します。▼立地企業から寄せられる事業拡大や、人材確保などの相談に対応する「立地企業フォローアップ事業」を進めます。

【**ホトニクスバレープロジェクト**】中核となる千歳科学技術大学の学術研究機能を最大限に生かしながら、産・学・官連携による研究開発活動を促進し、新産業や新技術の創出・育成、光関連産業の集積を図ります。

【**中心市街地の活性化**】核となる「千歳タウンプラザ」の来客数の増加を促します。▼中心市街地の空き店舗での開業希望者への支援を図るため、「空き店舗利用促進事業」に取り組みます。

【**「にぎわいトライアングル創出事業**】「千歳アウトレットモール・レラ」内に開設している「千歳情報発信ブース」を基点に、「道の駅サーモンパーク千歳」と連動し、中心市街地に観光客などの誘導を進めます。

【**雇用**】若年層の雇用機会を確保し、民間への就職活動につなげる「ワークシェアリング事業」を行います。▼ハローワーク千歳などの関係機関との連携を図りながら、雇用情報センターの活動を通じて、市民の就業活動を支援します。

【**観光の振興**】観光資源の整備・活用や観光客の周遊化の推進、情報発信機能の強化など、総合的・広域的な観光振興に努めます。▼焼失した支笏湖ポロピナイ地区の休憩所の建設に取り組みます。▼支笏湖地区の観光事業者・NPO・地域住民と協働し、ニーズに対応した観光地づくりを進めます。▼市が所有する支笏湖温泉の泉源の状態や湧出量について調査し、各施設への安定供給に取り組みます。



まちの活力を持続させるため「企業誘致」を進めます。

おもな施策の予算

新長期総合計画の5つの都市づくりの目標に分け、おもなものとして重点施策と新規施策についての予算をご紹介します。

※◎は重点施策、○は新規施策、●は重点施策でかつ新規施策です。

※金額は、実際の金額の千円単位の額を省略して表記しています。

心がかよい幸せ感じる都市づくり

- 難病患者等生活支援事業費 15万円
- 新生児訪問事業費 131万円
- 本庁舎西口改修事業費 3,050万円
- 高齢者用火災報知器給付事業費 1,289万円
- 障害者自立支援教育訓練等助成事業費 200万円
- 乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業費 421万円
- 放課後子どもプラン推進事業費 62万円

安全で人と地球にやさしい都市づくり

- ◎市民協働防災事業費 45万円
- ◎自主防災組織育成事業費 18万円
- ◎C経路まちづくり事業費 8,760万円
- 交通安全指導車更新事業費 281万円
- 除雪車両等購入事業費 678万円

学びあい心ふれあう都市づくり

- スクールカウンセラー配置事業費 128万円

【ヒメマスの保護対策】ふ化放流事業の円滑な実施と、遊漁マナーの周知に取り組みます。▼地元関係者による漁業協同組合の設立と、漁業権の取得に向けて支援します。



千歳の恵まれた自然環境などを生かした「観光振興」を進めます。

参加と連携による都市づくり

【市民協働によるまちづくり】平成19年4月に施行した「みんなが進める千歳のまちづくり条例」をもとに、情報の共有や実践などに取り組みます。▼市民協働の推進機関として「市民協働推進会議」を設置します。▼市民活動団体と市が連携して企画し、実施する協働事業に着手します。▼市職員の協

働に対する理解を深めます。▼平成20年に市制施行50周年を迎えるため、記念事業の実施に向け、市民活動団体や関係機関との連携を図り、準備を進めます。

【男女共同参画社会の実現】男女共同参画推進スタッフの設置や、家庭・学校・職場などにおける教育と啓発に努めます。

【市民サービスの充実】北海道から権限移譲を受け、平成19年7月から、パスポートの申請や受け取りの事務を市役所で始めます。

【行政評価】事務事業評価の継続・改善の推進と、施策評価を本格実施します。

【行政改革の推進】行政改革の推進と、国や北海道からの権限移譲を進め、地方自治の分権化を図ります。▼職員の能力を最大限に生かした行政運営と、簡素で効率的な市役所づくりに努めます。▼職員の勤務意欲と能力の向上を図るため、課長職の人事評価の本格実施と、一般行政職を中心に係長以下の職員についての試行評価を行います。▼職員の意識改革や人材育成を図るための研修を行います。



「千歳で生まれ、住んで良かった」と思えるまちを目指して

千歳は、生き生きと生活している「市民の活力」や、企業の活発な事業活動による「まちの活力」に支えられ、発展を続けています。

これらの活力を、「市民力」、「都市力」と考えますが、この「力」は、無条件に与えられるものでも、将来にわたり保証されるものでもありません。これからも、市民一人ひとりが生きがいを持ち、幸せを実感できるまちづくりや、企業誘致など、まちの活力を持続させる努力が必要です。

「市民力」と「都市力」を最大限に生かしたまちづくりを進め、9万3千市民が「千歳で生まれ、住んで良かった」と心から思える郷土づくりを進めます。

「市民協働実行元年」と位置づけた平成19年度のまちづくりを着実に進めるため、皆さんのさらなるご理解と、まちづくりへの参加をお願いします。

●記事の詳細●

【市政執行方針について】
企画部企画課企画調整係

☎(24)0439

【予算について】
総務部財政課財政係

☎(24)0541

○教職員用パーソナルコンピュータ整備事業費 305万円

○豊かな体験活動推進事業費 100万円

○小学校耐震化改修事業費 1,255万円

●特別支援教育体制推進事業費

242万円

○埋蔵文化財センター移転整備事業費

50万円

○市民球場整備事業費 9,200万円

魅力と活力あふれる都市づくり

○南2号道路(鉄北通)整備事業費

1億3,600万円

○グリーン・ツーリズム促進事業費

45万円

○農地・水・環境保全向上対策支援事業費

731万円

○畜産担い手育成総合整備事業費

1,185万円

○道宮新川地区畑地帯総合整備事業費

105万円

●ヒメマス保護事業費(支笏湖ヒメマス漁業権取得事業)

81万円

○観光案内板等整備事業費 608万円

●支笏湖温泉既存泉源調査事業費

328万円

○ポロピナイ休憩所施設整備事業費

6,373万円

参加と連携による都市づくり

○市民協働推進事業費 5,000万円

○パートナーシップ排雪事業費

700万円

○職員の意識改革支援事業費 200万円